

O₂ルーム

お友達やご家族、近所の方を誘って

無料で体験



O₂ルームって、何？

してみませんか？

酸素カプセルって聞いたことがありますか？芸能人が購入したりと巷で話題になっているものです。

O₂ルームとは、高気圧酸素の部屋に入っただき、高濃度の酸素のパワーで疲労回復！やアンチエイジングにも！効くといわれています。芸能人や、スポーツプロ選手が治療に使用していたりと話題になっています！

酸素カプセルは、お1人で、寝転んだ状態ですが、O₂ルームでは、お友達や、家族と一緒に1度に体験出来ちゃいます♪

こんな方にオススメ！



睡眠不足に！
成長ホルモン分泌でカサカサ肌が美肌に！
アンチエイジング
血行促進で冷え性、便秘の改善に！
脂肪燃焼でダイエット効果！



血流が良くなりヒザ、
腰などの痛みの緩和に！
脳細胞の酸素量増加で痴呆症の予防に！



メタボリックの予防に！
血行促進で日頃の疲労、ストレス解消に！
アルコールを分解し二日酔いの解消に！



世界ランキング1位の
 ジョコビッチ選手も使用
 しています！

頭がスッキリし、勉強の集中力・記憶力アップに！
成長ホルモンの増加に！
視力の回復に！



スポーツの後の体に溜まった乳酸を分解し、疲労や怪我の早期回復に！
大事な試合の前に血流がスムーズになる事で、
筋肉が柔らかくなり、抜群のコンディションで臨めます！

なにか当てはまる方は、ぜひ体験してみてください♪

12/8 (日) 12/9 (月)

O₂ルーム無料体験

黒瀬コート駐車場

完全予約制です。

12/8 (日)		
①	10 : 00～	4 名
②	11 : 00～	4 名
③	12 : 00～	4 名
④	13 : 00～	4 名
⑤	14 : 00～	4 名
⑥	15 : 00～	4 名

12/9 (月)		
①	10 : 00～	4 名
②	11 : 00～	4 名
③	12 : 00～	4 名
④	13 : 00～	4 名
⑤	14 : 00～	4 名

お時間 5 分前にお越しください。
当日、受付をお済ませください。
使用前後で血圧を測らせていただきます。
持病がある方は、事前にお問合せください。
会員様、ご家族、ご近所の方など参加 OK

【海外・その他】

マドンナ

プリンス

エルトン・ジョン

ロッドスチュアート

J a y-Z

ジェニファーロペス

アリッサ・ミラノ

レオナルド・ディカプリオキアヌリーブス

ジュージ・クルーニー

シャロン・ストーン

ブラッド・ピット

アーノルド・シュワルツェネッガー

シルベスター・スタローン

ハリソン・フォード

クリント・イーストウッド

ジャッキー・チェン

ドリュウ・バリモア

ジュリア・ロバーツ

トム・ハンクス

サンドラ・ブロック

パリスヒルトン

ペネロペクルス

ヴィクトリア・ベッカム

【歌舞伎】

片岡愛之助 当時熱愛が報じられた藤原紀香の自宅にて

市川海老蔵

【芸能人】

大地真央（女優）

中谷美紀（女優）

米倉涼子（女優）

浅野ゆう子（女優）

観月ありさ（女優）

米倉涼子（女優）

SHIHO（モデル）

HIRO EXILE メンバー

三代目Jソウルブラザーズ

安田美紗子（タレント）

ソンミ

しょこたん

【メジャーリーグ】

イチロー選手

松坂大輔

ダルビッシュ有

松井秀喜

【プロ野球】

金本知憲(阪神)自宅

下柳剛

今江敏晃(ロッテ)

菊池雄星(西武)

橋由伸

元木大介

赤星憲広

斉藤佑樹

多村仁（ソフトバンク）

今江敏晃(ロッテ)

菊池雄星(西武)

【競馬】

武豊

高田潤

【メダリスト】

福原愛（卓球）

高橋尚子（シドニー五輪女子マラソン）

野村忠宏（柔道 五輪メダリスト）

柔道石井慧『五輪出場あきらめない』高濃度酸素カプセルで治療進める

清水宏保（スピードスケート：長野五輪）

【テニス・バトミントン】

女子バトミントン小椋、はり・電気治療・高酸素カプセルで復帰目指す。

【ゴルフ】

福島晃子マッサージ・酸素カプセルで体をケア、今季初優勝を狙う。 古閑美保の若さの秘訣は

酸素カプセル？

【柔道・大相撲】

朝青龍（左ひじ怪我早期回復）

大関日馬富士、いいものはなんでも取り入れる！

【レスラー・ボクシング・格闘技】

長州力

藤波辰巳

天竜源一郎

藤田和之

亀田興毅

栗生隆寛

佐々木健介

ライガー

桜庭和志選手、ブログで酸素カプセルを紹介

秋山成勲

栗生隆寛

具志堅用高

【サッカー】

黒部光昭

三浦知良

中山雅史

香川真司

デビッドベッカム

クリスティアーノ・ロナウド

福岡ソフトバンクホークス

広島東洋カープ

酸素カプセルを愛用している有名人（使用実績）・・・

- デビッド・ベッカム(02 年骨折早期回復)
- イチロー(米メジャーリーグ)
- 松井秀喜(06 年左手首骨折早期回復)
- 高橋由伸(巨人、コンディション調整)
- 元木大介(03 年左肩鎖間接脱臼早期回復)
- 赤星憲広(03 年左ひじ怪我早期回復)
- 稲本潤一(04 年左足腓骨骨折早期回復)
- 三浦知良(疲労回復・コンディショニング調整)
- 斉藤佑樹(第 88 回全国高校野球 疲労回復)
- 清水宏保(スピードスケート:長野五輪)
- 福原愛(卓球:アテネ五輪)
- 朝青龍(08 年左ひじ怪我早期回復)
- 武豊(08 年骨折早期回復)
- 野口健(アルピニスト、トレーニングに導入)
- 本山哲(レーシングドライバー、疲労回復・調整)
- 北岡悟(総合格闘家、疲労回復・調整)
- 粟生隆寛(WBC 世界フェザー級王者、疲労回復・調整)
- 小川直久(プロサーファー、疲労回復)
- 滝田洋二郎(映画監督、疲労回復・撮影現場にも導入)
- EXILE メンバー(ミュージシャン、楽屋に導入)
- 大地真央(女優)
- 浅野ゆう子(女優)
- 観月ありさ(女優)
- 米倉涼子(女優)
- SHIHO(モデル)
- イモトアヤコ(anan にて時差ぼけ解消法として紹介)
- 山咲千里(タレント)
- ノルディックスキー・複合日本代表チーム(疲労回復・コンディショニング調整)
- FIFA ワールドカップ日本代表チーム(疲労回復・コンディショニング調整)
- 柔道日本代表チーム(怪我早期回復)
- ワールドカップ女子バレーチーム(疲労回復・コンディショニング調整)

他多数

男子テニスの最新世界ランキングで1位になったセルビアのノバク・ジョコビッチ選手は、一般的なやり方で世界1になったわけではない。

サーブの前にボールを過度にバウンスさせて相手の選手の集中力をそぐことがあるし、グルテン無しの食事のおかげで、コートで強くなれたと言う。

しかし本当に不思議なものも使っている。「CVACポッド」という機械だ。



昨年の全米オープン以来、ジョコビッチは7万5000ドル(約575万円)もする

このボブスレーのような形をした卵型の圧力容器に入って、体力を向上しようと努力している。

このポッドはCVACシステムズというカリフォルニア州に本拠を置く企業が製造したもので、スポーツ団体でこれを禁止した団体はなく、世界でわずか20台しかない。多くのアスリートたちは、血液に酸素を満たし、回復力を高めるため5000ドルの高圧酸素カプセルを利用するようになっているが、

CVACポッドはこれとは違ってもっと野心的な装置だ。コンピューター制御のバルブと真空ポンプを使って、高地トレーニングのような状況をつくり、リズミカルな間隔で筋肉を圧縮する。

CVACシステムズは、このポッドの中で1週間に3回、最高20分間過ごせば、血液の循環を良くし、酸素の豊富な赤血球を増やし、乳酸を除去して、運動能力を向上させる効果があると主張している。ミトコンドリア生合成や幹細胞生産を刺激する可能性すらあるという。

ジョコビッチはこのポッドは試合でも役立つと確信している。このため、29日に開幕する全米オープンの期間中、ニュージャージー州アルパインにあるテニストレーナーの友人宅に滞在するという。友人宅にはこのポッドが置いてあるからだ。

ジョコビッチはこれまでこのポッドについて公に話したことはなかった。彼がこれを使っていると初めて話したのは先週ニューヨークで行われたスポンサーイベントの場で、本紙がポッドに関して質問したときのことだった。彼は「このポッドは本当に役に立つと思う。筋肉に対して効果を発揮するというよりも、試合後の疲労回復に役に立つ」と述べ、「宇宙船のようで、非常に面白い技術だ」と語った。

このCVACポッドは長さ210センチ、幅90センチ、高さ210センチで、ふたが開いて出入りする。CVAC社は、これは市場で出回っている他の高圧酸素カプセルとは異なっていると強調している。圧力や温度、そして空気の密度を調整でき、アスリートがさまざまな条件に適応するための能力を高められるという。

ポッドのユーザーは座っている以外にすることはあまりない(携帯電話の使用は許可されている)が、CVACシステムズのアレン・ラズコフスキ最高経営責任者(CEO)は、このポッドは集中的な運動と同程度のさまざまな効果があるとしている。酸素の体内吸収に効果的で、運動選手に禁止されている血液ドーピングの2倍程度の効果があるという。

元米五輪レスリングコーチのボブ・アンダーソン氏やモトクロス・レーサーのイバン・テデスコ氏などはこのポッドを使ったことがあり、効果があると述べている。ラズコフスキCEOは、他の高名なアスリートたちもこのポッドを使っているが、だれにも教えていないと指摘。「それが使っているアスリートにとって競争上長所になると考えるからだ」と語った。

世界アンチ・ドーピング機構(WADA)は2006年、運動能力を高めるこの種の酸素テントが「スポーツ精神に反する」と述べたが、「一層の研究結果を待ちたい」として、禁止対象薬物や禁止方法のリストには含めなかった。

記者: Hannah Karp